

# 研究不正の防止を超えて

志の高い研究の仕組み作りを考える

昨今、研究者による研究論文の捏造・改ざん・盗用、いわゆる研究不正の防止については、個々の研究者の自覚が求められています。一方で、研究不正がおこらないような「仕組みづくり」も必要です。その仕組み作りを有意義なものとするには、単に不正を防止するという消極的な視点にとどまらず、「志の高い」研究を目指すという積極的な視点が肝要です。

この講演会は、本学の全分野の研究者、研究者を目指す学生、研究及び学生指導にあたる方などを対象として、研究倫理の専門家による講演と参加者を交えての議論により、研究者が自ら行動を律することで確立される公正な研究、志の高い研究への意識を高めます。

日時	2014年7月14日(月) 17:00~18:45
場所	京都大学医学部芝蘭会館 山内ホール
参加費	無料
対象者	京都大学の教員・職員・学生 ※他大学・研究機関等に所属する研究者の方も参加可能です
定員	120名程度(先着順)
申込	予約制 ※申込フォーム( <a href="http://goo.gl/mlsgdA">http://goo.gl/mlsgdA</a> ) or 右下QRコードによりお申し込みください
お問合せ	研究国際部研究推進課研究コンプライアンス掛 TEL: 075-753-2603, 2297 E-mail: Integrity2014@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

<次第>

- 17:00~17:05 開会挨拶  
吉川 潔 (京都大学 研究担当理事)
- 17:05~17:20 「研究公正に関する検討状況」  
水谷 雅彦 (京都大学応用哲学・倫理学教育研究センター長)
- 17:20~18:05 講演「公正な科学～研究発表倫理を中心に～」  
山崎 茂明 (愛知淑徳大学 人間情報学部教授)
- 18:10~18:40 Q&Aセッション
- 18:40~18:45 閉会挨拶

<講師プロフィール>

愛知淑徳大学 人間情報学部教授 **山崎 茂明 先生**

1947年東京都生まれ。  
早稲田大学第一文学部(社会学)卒業、  
慶應義塾大学大学院図書館・情報学専攻博士課程満期退学  
図書館情報学博士(愛知淑徳大学)  
東京慈恵会医科大学医学情報センター講師を経て、  
現在、愛知淑徳大学人間情報学部教授。  
専門は科学コミュニケーションと科学発表倫理



申込  
フォーム  
QRコード

